

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

8月5日現勢 組合員 9,201名
機関紙 5,674部
年金改善署名 62,022筆



神奈川県版 第250号 2009年8月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

10月・11月を秋の月間に

春の勢いを広げ9500人へ

8月4日の県本部執行委員会は

①「秋の仲間づくり月間」を10・11月の2カ月間とする。

② 基準目標(拡大率)を、100人未満支部は7%、101人から400人未満支部は3%として、9500人県本部を

の2点を決めました。県本部は、来年の月間中に高齢者比1%を目指します。

① 全支部は県本部のこの計画も頭に入れながら、高齢者比1%(99年比)をいつまでにやるかを定める。1%超支部はその上の目標を決める。
② それにもとづき、年間目標、月間目標を決める。ことを重視する。

検討し、そのうえで支部が決めた目標を支部目標とする。ことを確認しました。

8月支部役員会議から「秋の月間」の①拡大運動の意義と必要性

②目標、拡大計画。③月間行動計画(楽しい計画、統一行動等)作りの討議をはじめ、9月中には、すべての準備を終えて10月からの月間を迎えましょう。

(土志田県本部書記長)

最低保障年金の財源 応能負担の原則を学ぶ

神奈川県本部は、7月27日、「消費税による最低保障年金」の「財源」学習会を開きました。

講師は、中央本部政策委員会の久昌事務局長。駆けつけた60人は真剣にメモを取っていました。学習会は、「最低保障年金」の財源を、政府・自公、民主党ともに「消費税増税」に求めていることに対抗して、年金者組合が提案する「財源」問題を学習。久昌事務局長は、「すべてが消費税増税ではない。真の財源論ではない」と批判。支給年齢が65歳なら約20兆円、他に、医療・介護を考えると「大きな財源が必要だ」と述べた上、現在、年金に投入されている財源、軍事費、無駄な公共事業などの削減分、一般財源の確保、とりわけ、「憲法の理念にもとづく」



「応能負担」の原則を具体化することを提案しました。

4冠達成に沸く 大満足の祝賀会

横浜みなみ支部

7月8日の組合員300人突破、支部ニュース100号達成、支部事務所開設の3冠達成を祝う集いは、直前に南区高齢者比率の

1%を突破(1999年比320人)し、1冠が増え4冠達成記念レセプションになるという喜びと驚きの中で開かれました。集いは、支部ニュース創立以来の鈴木政義編集長、事務所のオーナーの仁木高子副支部長、森信幸2代目支部長に感謝の花束が贈られ、当日届いた「年金みなみ」支部ニュース100号記念集の出来栄にビックリすると共に、鈴木政義編集長、菊池前副支部長や亡くなられた森田初代支部長など、

ニューズに載った若かりし日の活動姿や、今だから話せる創立秘話を肴に、酒も話も大いに弾みました。蒔田公園の朝のラジオ体操で8人を入会させた方、童謡をうたう会に入会したばかりの方など新旧支部員と共に、田島県本部委員長、金沢、磯子の仲間も駆けつけてくれ、シルバーハーモニカサークルの懐メロにうっとり、最後は浴衣姿も艶やかな



盛会でハーモニカの演奏も弾む

最低保障年金は消費税に頼らない

県本部副委員長 竹中健治

財政問題が今日特に重視されるのは、自・公・

る名目でも消費税増税は絶対に認めない。また自衛隊の海外派兵や巨額の軍事費に反対し、憲法9条をしっかりと守る世論を大きく作り出すことが必要です。前途に希望と幸せを実現する総選挙勝利に向け、組合員の皆さんが意気高く取り組んでいくことを呼びかけます。

民の各政党が財源は消費税の口実にしていることに問題があります。今年政府も重い腰を上げ、基礎年金の税負担をやっと3分の1から2分の1に負担を増やした事もあります。当組合は①事業主負担は従来と変わらず徴収する。②応能負担による財源を予定している。③そして一般財源をどこから確保して行くのか。この3点を重視しています。応能負担は利益を大きく上げている大企業・大銀行・大資産家・大株主等税負担能力の高いつとから、その能力に応じて払うのが極めて当然の事であり、大企業の輸出主導型を内需主導型に転換すれば、非正規型の雇用形態の廃止・非正規等

総選挙勝利 自公政治にとどめを

県本部執行委員長 田島茂

いよいよ総選挙です。今度の総選挙は自公政府の悪政に終止符を打ち、格差社会をなくす。平和憲法を守る極めて重要なたたかいです。高齢者の命と暮らし、生き甲斐、安心を守る私たちが年金者組合は、自らの力を大きく強くし、消費税によらない最低

保障年金制度の実現。最低保障年金が実現するまで、生活費に見合う年金引き上げを実施。消えた年金は一人残らず解決させる。そして参議院で可決した後期高齢者医療制度を廃止させる。75歳以上の医療費の無料化実現。の要求を掲げて全力をあ

この総選挙で大きく声を挙げていけば、最低保障年金制度の実現は確実にできる可能性を感じています。

新組合員も大勢 うたや踊りも次々に 茅ヶ崎・寒川支部の納涼会

茅ヶ崎・寒川支部恒例の「新組合員歓迎納涼会」が7月26日、福祉会館で行われました。
当日加入した人も含め、この月間で32人の会員が増えた勢いもあって、122人もが参加し、会場はいっぱい。新組合員の半数が出席し、一人ひとりに元気のよ



い挨拶があつてカンパイ。役員が用意したご馳走や飲物に加えて差し入れもいっぱい豪華なパーティになりました。
舞台では特技のハーモニカ、篠笛、コカリナ、アンサンブルミミの演奏が続ぎ、日本舞踊や女性の会のダンス、太極拳サークルの演技、童謡の会の合唱。そして全員合唱など、食べて、飲んで歌って語り合う楽しい納涼会になりました。

しめくくりはピンゴで司会者の数字の発表ごとに会場は沸いたり、ため息がもれたり賑やかでした。
会場では有志から寄せられたバザー、会員労作のPATCHワークの手芸サークルの

ニカ、篠笛、コカリナ、アンサンブルミミの演奏が続ぎ、日本舞踊や女性の会のダンス、太極拳サークルの演技、童謡の会の合唱。そして全員合唱など、食べて、飲んで歌って語り合う楽しい納涼会になりました。

県女性の会

7月25日26日、第55回日本母親大会が京都市で開催、2日間で1万7500人、県女性の会は3人が参加しました。
1日目の全体会で母親大会代表委員の高田公子さんが「核兵器から子供をのちを守る」の運動が55年を迎え、オバマ大統領の「核廃絶」の演説が示すように、世界は大きく動いている。と気迫の訴えに心から拍手をしました。

核兵器から子供のいのちを守ろう 日本母親大会に3人参加

合うことやろ」「ましてや核兵器なんか地球上には不必要じゃ」「小さな虫達にも命の輝きがある」日本には「非核原則」があるのに、核を持ち込んでいいと、佐藤首相とキッシンジャーが密約していたことを歴代の総理大臣は知っていたはず、許せないと説法されました。また、憲法9条は世界の宝、



お母さん達の力で守ってほしい。行動を起こしてほしいと激励されました。
2日目の分科会は年金後期高齢者の2つの分科会に参加し、どの会場も満席で床に座って聞く状態でした。全国各地からの発言に涙、笑い、そして勇気ももたらしてきました。



県本部副委員長 虻川十朗さんが急逝

「アブちゃん」の愛称で信頼された年金者組合県本部副委員長、虻川十朗さんが7月31日、死去しました。67歳でした。突然の訃報にもかかわらず、300人を超える甲問客が駆けつけ、生前のアブちゃんを偲びました。虻川さんは、秋田県大館市生まれ。1960年代初頭に上京、横浜港湾

川崎多摩女性の会が浅草のほおずき市と隅田川川下りを企画。7月9日は人気を呼んで32人が参加しました。
「前から一度行ってみたいと思っていただけれど、女性の会で連れていってもらえて嬉しい」と期待でわくわくの人も。
ほおずき市では35人で自由行動となり、あちこちではおずきを見比べる人浅草の有名なおもしろい店やぶら、仲見世のおみやげ屋のハシゴなど自由きままに散策しました。
午後は13時の水上便で涼風に吹かれて川下り。船内でお弁



みんなと一緒に楽しかった

作品も飾られ、原水禁大会代表参加のカンパも寄せられるなど、年金者組合ならではの中身の濃い集いでした。
(小宮山泰子)

大きい大川端に見取れました。
35分の船旅で浜離宮公園に到着。緑の下で記念撮影や、徳川家の別荘だった昔の鴨狩りの跡など三々五々の散歩で終了。せっかくなので来たのだからと場外市場に立ち寄って買い物に精出す人も見られました。
(多摩支部 小林光子)

「テツ」の旅で小諸へ
青春18きっぷをフルに
金沢支部 旅のグループ

小諸・懐古園(小諸城跡)の旅情。乳白色の霧かき分ける軽井沢、碓氷峠のバス。山から闇の下りてくるのを待つ、物悲しい峠の茶屋・横川駅。「美味しい、美味しい」と食べた信越本線車内で働き、社会変革に目覚め、横浜で「日本民主青年同盟」の結成に参加。ベトナム戦争に反対して「米領事館」前の山下公園にテントを張り抗議。多くの青年の心を揺さぶり、ヒーローでした。
その後、共産党衆議院議員の秘書、建設労働組合運動に入り、現役引退後は「全日本年金者組合 神奈川県本部」の書記次長、副委員長を歴任しました。

の釜飯。跨線橋を渡り3分て乗り換えた17人の歓声。午前7時に発ち、「また行こうね」と仲間と別れて午後11時30分に帰宅。文句のつけようのない充実した16時間30分の旅でした。
横浜金沢年金者の会、「青春18きっぷの会」では7月、東神奈川、八王子、中央線小淵沢、小海線小諸、軽井沢、横川、高崎、上野、横浜。ぐるりと一周の旅をしました。
本来なら、8000円をこえる交通費

ですが、1日2300円のJR「青春18きっぷ」に若干の私鉄とバス代だけで、満喫できる計画が練られます。小諸で昼食時間合わせて4時間取れました。そろそろ車中泊の長旅に挑戦したいと思っています。
(杉沢隆宣)

告示
一、議選
①二〇〇九年度運動方針(案)
②決算、監査報告および新年度予算(案)
③役員選出
④その他
一、日時 九月八日(火) 午前十時より
二〇〇九年八月四日
執行委員長 田島 茂

